

障がいがあっても地域のなかでふつうの生活を



つながるえーる

瓦版

かわらばん

2025年2月1日発行

社会福祉法人葦の家福祉会

えーる油山

〒814-0155
福岡市城南区東油山1丁目6-39
TEL.092-834-8900
FAX.092-834-8910
発行責任者 佐々木 篤
発行担当者 山内恵美子



ホームページはこちら

今月の題字/有吉菜桜さん

キヤツチ できたよ〜!

1/11(土) 餅投げが行われました

新しい「えーる油山」の新築工事の無事と安全を祈願して、「上棟式」と「餅投げ」が行われました。

当日は心配していた雨も降らず、地域の方々にも多数お越しいただき、無事執り行うことができました。

また、仲間だけでなく、職員もあまり経験をしたことのない日本の伝統行事だったので、どれくらいのお菓子を用意するかなど、手探りでイベントでしたが、お楽しみいただけましたでしょうか。紅白のお餅やお菓子が、上から降ってくるように投げられて、みんな大興奮! 「新えーる油山」に期待が膨らみました。



下にもあるかな



\\ 集合写真 //

近所にチラシをポスティング



Öl project(えーるプロジェクト)

2025年度樋井川移転を目指しています

二月は季節の分かれ目節分、春隣(はるどなり)は立春と、ようやく暖かな春の文字に出会える。春という文字を見ると、不思議と心が穏やかで暖かくなる。テレビでは恵方巻のコマーシャルが流れ、今年の恵方は「西南西」、「西南西」に向かって恵方巻を丸かじりしながら、これだ! という願いを届けたい。

さて、えーる油山では毎年の恒例行事、「節分」をみんなの手作りで行っている。思い思いの面を描き、投げ豆の準備も行う。少々いかつい青鬼、赤鬼がさっそうと登場するも、仲間からの超特急の豆攻撃で返り討ちになるのは、常



イラスト 鬼:石橋弘崇さん 梅:古屋慶次さん

施設長コラム

春の訪れ

の筋書きである。「鬼は外、福は内」の掛け声も、今のえーる油山で響くのは今回で最後になりそう。みんなで最高の思い出にしておきたい。

管理者 佐々木 篤

委託先紹介

ときめきショップ

営業: 10:30~19:00
定休日: 火・日・祝・年末年始
住所: 西鉄薬院駅ビル

早良美術館るうゑ

営業: 11:00~16:00
定休日: 月・火・年末年始
住所: 早良区石釜104-6
入館料: 200円
2階に授産品コーナーがあります

フェーリ

営業: 10:00~18:00
定休日: 土日
ふくふくプラザ1階



Öl aburayama イラスト 野村悠さん

■入賞作品展■

2/3(月)~2/9(日) 11:00~18:30
ギャラリー風(新天町) 最終日は16:00まで

「えがく」部門 長谷川優子さん
「あそぶ」部門 佐野圭亮さん



入賞しました

福岡市障がい児者美術展

おめでとう
ございます

12月売上報告

授産品	236,250 円	下請	31,198 円
農作業	6,200 円	合計	273,648 円

えーるとつながる...

ご家族から

障害ある息子
理解と支援を

蘭山ミカ

我が家には26歳になる息子がいます。4歳の時にインフルエンザで脳症になり重度知的障害になりました。手探り状態で22年、入院することもなく過ごしてきました。

今は、訪問リハビリに来ていただく日々です。福岡市は障害児者に対する理解と受け入れが遅れており、がっかりです。入院中に付き添った私はご飯も買いに行けず、お菓子やコンビニのおにぎりなどを食べていました。もう少し障害児者と家族に寄り添っていただけたらと思います。

息子は昨年11月に左大腿骨を骨折。緊急手術し、私は付き添い入院となりました。病院では皆さん優しくしていただきましたが、リハビリテーション病棟へ転院することになり、ソーシャルワーカーさんが病院を探してくれました。でも重度の障害があり、親の付き添いや個室が必要である息子は受け入れてくれる病院はありません。すべて受け入れを断られ、自宅にいます。

これは[西日本新聞こだま]欄に投稿されたものを、ご本人の許可をもらって紹介します(1月28日付)

※現在「息子」の蘭山さんは、えーる油山に出勤再開されています。